

はが

自治会別懇談会 全自治会で終了!!

宍粟市社協では、昨年から
来年までの3年間で全ての自
治会での懇談会を実施するこ
とを計画にあげ、全支部で取
り組んでいます。

波賀支部では昨年9月に道
谷自治会で開催してから約一
年、今年9月5日の日見谷自
治会で全自治会での懇談会を
終えました。

この懇談会では宍粟市社協
の活動を説明しました。そし
て、質問やご意見を伺う中で
社協活動へのご理解を深めて
いただき、地域の福祉課題を
みなさんと共有することがで
きました。

社協会費や募金、善意銀行



鹿伏での自治会別懇談会

の使い道、「お達者クラブ」
や「移送」「介護保険」の利
用についての質問や「善意銀
行への預託が旧町によって差
があり、啓発をすすめてほし
い」「買物や用事に行けなく
なり困っている」というご意
見が多くありました。また、
「現在の活動は良くわかった
が10年、20年後に高齢者がも
つと増えたら、地域でどんな活
動が必要なのかを社協に具体
的に示してほしい」という貴
重なご意見もいただきました。
これらのご意見を理事会や
波賀地域福祉推進委員会で協
議し、今後の社協活動に活か
します。

(波賀支部 谷口朱美)

ちくさ

宍粟市婦人共励会 千種支部 「退会者と交流会」

「婦人共励会」
は、母子家庭
及び寡婦の福
祉の向上をめ
ざしている全
国的な組織で
す。

宍粟市婦人
共励会でも、
交流会や勉強
会を通して、
お互いを思い

やる精神のもとに、「共に励
まし協力していこう」と活動
をしています。

千種支部では、退会された
方10名を招いて、9月28日
(日)、「共励会員のつどい」
を開催し、現会員10名が交流
をしました。



今回で、3回目を迎えたつどい。
久しぶりの再会に笑顔! 笑顔!

「昔は、もんぺを売って活
動資金にしようたんやで」
「子どもたちが、共励会のみ
かん狩りを、楽しみにしとつ
たなあ」と当時の様子を懐か
しそうに話されていました。

母子家庭となり、生活も苦
しく精神的にも辛かった頃、
協力し、励まし合いながら子
育てする中、共励会の仲間は
かけがえのない支えだったそ
うです。

「時代は変わっても、母親
の頑張つとる姿を子供はよー
見とるで、すっかり頑張りな」
と現会員を励ましていました。
和気あいあいと昼食やゲー
ムを楽しみ、終始和やかな一
日となりました。

今後の取り組みが、母子家
庭及び寡婦にとって、意義あ
るものになるよう社協も応援
します。

(千種支部 山本めぐみ)

寡婦とは・・・かつて母子家庭の
母で、子が成人した配偶者のな
い女性を指します。